

緩和ケア論

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 講師		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座、緩和医療学科、附属病院看護部、附属病院高度看護研修センター		
対象学年	2	区分・時間数	講義 12 時間
期 間	後期		
単 位 数	1 単位		

・学修方針（講義概要等）

緩和ケアとは、生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者とその家族の QOL の維持・向上を図るアプローチであり、患者とその家族が生活するあらゆる場所で提供される。歴史的背景を踏まえて緩和ケアの理念を理解し、緩和ケア実践における看護師の役割について探求する。全人的な患者理解と苦痛の緩和、患者の価値観や意思を尊重するための支援について理解を深める。さらには、緩和ケアを必要とする患者とその家族が安楽な状態を維持し、尊厳を持って生活できるよう、適切な支援を行うためのチーム医療における看護の役割について学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

1. 生命を脅かす疾患に直面している患者および家族を全人的に理解することで、自分らしく生き抜こうとする患者とその家族に深い関心を持つことができる。
2. 生命を脅かす疾患に直面している患者の病態生理を基盤とした症状マネジメントについて学び、患者の苦痛を緩和するための看護師の役割を理解できる。
3. 緩和ケアを受ける患者とその家族の価値観や意思を尊重するためのケアに必要な倫理的視点を身につける。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3

・到達目標（SBO）

1. 緩和ケアにおいて協働する他職種間の専門性と役割を理解し、チームアプローチにおける看護師の役割を説明できる。
2. 緩和ケアにおけるコミュニケーションの目的と重要性を理解し説明できる。
3. 生命を脅かす疾患に直面している患者の全人的苦痛について理解し、苦痛緩和のためのケアを述べることができる。
4. 緩和ケアにおける家族ケアの必要性を理解し、家族のアセスメントとケアについて述べるができる。
5. 緩和ケアにおける倫理的課題を理解し、患者・家族の価値観を尊重するための看護師の役割について述べるができる。

・授業日程

(矢) 西 1-B 講義室

【講義】

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
9/28 (木) 4 限	緩和医療学科 木村 祐輔 特任教授	<p>緩和ケア概論/チームアプローチ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケアの定義、概念及び緩和ケアの現状について説明できる ・緩和ケアにおけるチームアプローチについて説明できる <p>【事前学修】 緩和ケアの定義と現状についてまとめる (60分)</p> <p>【事後学修】 緩和ケアにおけるチームアプローチと看護師の役割についてまとめる (60分)</p>
10/11 (水) 3 限	緩和医療学科 木村 祐輔 特任教授	<p>がん患者の身体症状マネジメント (疼痛マネジメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん患者の身体症状マネジメントの基本的な考え方とケアについて述べるができる ・がん疼痛マネジメントについて述べるができる <p>【事前学修】 がん患者の主な身体症状についてまとめる (60分)</p> <p>【事後学修】 がん患者の身体症状マネジメントの基本的な考え方とケアについてまとめる (60分)</p>
10/18 (水) 3 限	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 講師 (がん看護専門看護師)	<p>がん患者の精神的苦痛、社会的苦痛、スピリチュアルペインのアセスメントとケア (ディスカッション)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん患者の精神的苦痛、社会的苦痛、スピリチュアルペインのアセスメントとケアについて述べるができる <p>【事前学修】 がん患者の心の反応、社会的苦痛、スピリチュアルペインについてまとめる (60分)</p> <p>【事後学修】 がん患者の精神的苦痛、社会的苦痛、スピリチュアルペインのアセスメントとケアについてまとめる (60分)</p>
10/25 (水) 3 限	附属病院看護部 萬徳 孝子 主任看護師 (緩和ケア認定看護師)	<p>臨死期にある患者・家族へのケア/喪失・悲嘆・死別 (ディスカッション)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨死期における経過や患者・家族へのケアについて述べるができる ・看取りの時期における患者・家族のアセスメントとケアについて述べるができる ・喪失・悲嘆・死別における看護師の役割について述べるができる <p>【事前学修】 臨死期における患者と家族の特徴についてまとめる (60分)</p> <p>【事後学修】 臨死期、看取りの時期における患者・家族へのケアについてまとめる (60分)</p>

10/30 (月) 2 限	附属病院高度看護 研修センター 長澤 昌子 主任教員 (緩和ケア認定看護師)	緩和ケアにおける家族ケア (ディスカッション) ・緩和ケアにおける家族ケアの必要性を理解し、家族のアセスメントとケアについて述べる事ができる 【事前学修】 家族ケアの目的についてまとめる (60 分) 【事後学修】 緩和ケアにおける家族のアセスメントとケアについてまとめる (60 分)
11/7 (火) 4 限	附属病院看護部 高橋 郁恵 看護師長 (慢性心不全看護認定看護師)	非がん疾患の緩和ケア (慢性心不全患者への緩和ケア) ・慢性心不全の特徴を理解し、慢性心不全患者のアセスメントとケアについて述べる事ができる 【事前学修】 慢性心不全の特徴についてまとめる (60 分) 【事後学修】 慢性心不全患者のアセスメントとケアについてまとめる (60 分)
11/29 (水) 3 限	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 講師 (がん看護専門看護師)	入院・入院以外での緩和ケア (ディスカッション) ・入院 (一般病棟や緩和ケア病棟) での緩和ケア、入院以外 (外来通院、在宅、施設) での緩和ケアについて述べる事ができる ・場面別の看護師の役割について述べる事ができる 【事前学修】 入院での緩和ケア、入院以外での緩和ケアについてまとめる (60 分) 【事後学修】 入院での緩和ケア、入院以外での緩和ケアにおける看護師の役割についてまとめる (60 分)
12/4 (月) 3 限	緩和医療学科 木村 祐輔 特任教授	緩和ケアにおけるコミュニケーション/緩和ケアにおける倫理的課題、アドバンス・ケア・プランニング ・緩和ケアにおけるコミュニケーションスキルについて述べる事ができる ・緩和ケアにおける倫理的課題について述べる事ができる ・患者の価値観を理解し尊重するためのケアについて述べる事ができる 【事前学修】 基本的なコミュニケーションについてまとめる (30 分) 緩和ケアにおける倫理的課題についてまとめる (30 分) 【事後学修】 アドバンス・ケア・プランニングにおける看護師の役割についてまとめる (60 分)

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ成人看護学⑥緩和ケア第3版	宮下光令 編集	メディカ出版	2022
参	ナーシング・グラフィカ成人看護学③セルフマネジメント第4版	安藤史子、鈴木純恵 他 編集	メディカ出版	2022

・ 成績評価方法

定期試験で行われる筆記試験（記述・多肢選択）100%にて評価する。

・ 特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

- ・ シラバスに記載されている授業内容及び到達目標を確認し、教科書、「成人看護学概論」等の既習科目の講義資料をもとに予習しておくこと。
- ・ 講義終了後は教科書や配布資料・ノートにて最低 60 分以上の復習を行い理解の促進を図ること。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・ 講義後のリアクションペーパーを活用し、内容に応じて次回講義内もしくは WebClass でフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：統合分野 看護の統合と実践

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影